

令和  
4年度

# 事業報告・収支決算

「岩手県社会福祉協議会活動計画2019-2023」（平成31年3月策定）に基づき、令和4年度は活動計画の4年目として各種の事業に取り組みました。



令和4年度福祉サービスの苦情を考えるセミナー

## 1 県民の生活課題の解決

### （1）生活課題を抱える住民の支援

#### ●岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業

地域福祉活動コーディネーター（CSW）を養成したほか、CSWへの実践研修会を開催した。

〔・CSW養成……………26人〕

#### ●市町村社会福祉協議会部会事業

全ての市町村社協での「市町村社協中期経営計画」の策定を目指し、アドバイザーを派遣した。

#### ●生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行い、生活の安定と経済的自立を図った。また、

新型コロナウイルス感染症の影響による減収等で、生活が困難となった世帯を対象とした特別貸付を市町村社協の協力を得て実施した。

・貸付実績…貸付決定件数1,296件

（うち、コロナ特別貸付794件）

※コロナ特別貸付の貸付決定件数

1,0354件（令和2年3月25日〜

令和4年9月30日）

#### ●福祉人材確保等貸付事業

各種貸付により、福祉人材の養成と確保、就職・就労の支援や自立の促進を図った。

・介護福祉士修学資金貸付等事業…155件

・保育士修学資金貸付事業……………43件

・ひとり親家庭高等職業訓練

促進資金貸付事業……………9件

・児童養護施設退所者等に対する

自立支援資金貸付事業……………14件

#### ●I W A T E あんしんサポート事業

暮らしの困りごとを抱えた方に対し、新たなセーフティネットとして、社会福祉法人が種別を越えて連携・協力して自立支援を行った。

・参画法人……………90法人

・あんしんサポート相談員の配置

……………297人

#### ●盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業

5町（雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）の生活困窮者に対し、自立支援プランや家計再生プランを作成し、自立の促進を図った。

・新規相談……………174件

・自立支援プラン作成……………42件

・家計再生プラン作成……………11件

#### ●ひとり親家庭等総合相談支援事業

ひとり親家庭等を支える仕組みづくりを推進するため、ネットワーク

会議を開催したほか、ひとり親家庭等への相談支援を行った。

〔・新規相談対応件数……………56件〕

### （2）住民の権利擁護と

#### 福祉サービスの利用支援

#### ●日常生活自立支援事業／成年後見推進事業

認知症等で判断能力が不十分な方に、福祉サービスの利用援助及び日常的な金銭管理サービス等の提供を行うため、12の基幹社協に業務の一部を委託して基幹社協の専門員及び生活支援員が利用者の支援を行うとともに、成年後見制度への移行を支援した。

〔・日常生活自立支援事業の実利用者数

……………1,011人

### ●福祉サービス苦情解決事業

福祉サービス提供事業所における苦情解決の体制整備を支援し、苦情をサービスの質の向上に生かす取組の促進を図った。

・事業所巡回訪問……………	40か所
・苦情相談……………	41件
・一般相談……………	80件

### (3) 民生委員・児童委員の活動支援

会長・副会長、主任児童委員を対象とした研修会を開催したほか、新任民生委員児童委員向けのオリエンテーションDVDを作成した。

### (4) 東日本大震災からの復興支援と

#### 災害時対応体制の整備

●東日本大震災被災者生活支援事業  
市町村社協に配置した生活支援相談員62人が、支援対象世帯2,120世帯に対し、延べ39,983回の訪問支援等を行ったほか、生活支援相談員のスキルアップ研修会を開催した。

#### ●災害復興基金事業

東日本大震災後に本会に寄せられた寄付金により創設した「災害復興基金」を、本会や市町村社協が行う

被災者支援活動の財源として活用した。

### ●ボランティア・市民活動センター事業（災害発生時）

災害発生の際、市町村社協が迅速に災害ボランティアセンター（VC）を設置できるように、関係機関とのネットワーク連絡会議を開催するとともに、災害VCの設置・運営の研修訓練を実施した。

### ●災害広域支援ネットワーク（災害派遣福祉チーム）推進事業

災害派遣福祉チームの派遣体制強化を図るため、マニュアルに基づく連絡訓練等を行ったほか、新たにチーム員10人を養成した。

## 2 住民の福祉活動の振興

### ●ボランティア・市民活動センター事業（通常時）

誰もが気軽にボランティア活動を体験できる「ボランティア体験inいわて」を実施し、住民相互に支え合う機運の醸成及びボランティア活動の拡充を図ったほか、社協VCの役割の明確化と機能強化を図るための活動研究会等を行った。

## 3 福祉人材の養成と確保

### ●介護職員等医療的ケア研修事業

介護施設等において適切に喀痰吸引を行うことのできる介護職員等の養成研修を開催した。

【修了者……………130人】

### ●福祉人材センター運営事業

無料職業紹介所として、求人求職のマッチングを図ったほか、福祉の仕事への関心や理解を深めてもらうため、小学校、中学校及び高等学校等への出前講座（12校）を開催した。

【採用人数……………141人】

### ●介護人材マッチング支援事業／保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業

福祉・介護・保育士の人材の確保を目的に、求職者への相談支援や施設訪問による求人開拓と助言等を行った。

【介護人材マッチング数……………226人】  
【保育士マッチング数……………110人】

### ●民間社会福祉事業職員共済事業

「民間社会福祉事業職員共済事業」の財政運営の健全化を図るため、積立水準回復計画に基づき事業の適正な運営に努めた。

## 4 社会福祉事業経営の支援

### ●障がい者就労・社会参加支援受託事業

障がい者就労支援事業所に対し、施設外就労のマッチング支援や自主生産製品の販売、販路・業務受注拡大等の支援を行ったほか、農林水産業者、事業所職員が相互理解のための研修会等を開催した。

【事業所と農林水産業者とのマッチング数……………230件】

### ●共同受注窓口事業

障がい者就労支援事業所の利用者が地域で自立した生活を送れるよう、就労の実現と工賃向上による所得確保を目的に、障がい者就労支援事業所製品の販売活動の推進と役務の受注拡大を促進した。



令和4年度第1回介護・保育・福祉の就職相談会

令和4年度 一般会計計算書類の要旨

■ 資金収支計算書		(単位：千円)
科 目	金 額	
事業活動による収支	事業活動収入	1,009,991
	事業活動支出	1,158,160
	事業活動資金収支差額	△ 148,169
施設整備等による収支	施設整備等収入	116
	施設整備等支出	1,349
	施設整備等資金収支差額	△ 1,233
その他の活動による収支	その他の活動収入	3,423,603
	その他の活動支出	3,357,791
	その他の活動資金収支差額	65,812
予備費支出		0
当期資金収支差額合計		△ 83,590
前期末支払資金残高		541,693
当期末支払資金残高		458,103

■ 事業活動計算書		(単位：千円)
科 目	金 額	
サービス活動増減	サービス活動収益	1,019,854
	サービス活動費用	1,089,641
	サービス活動増減差額	△ 69,787
サービス活動外増減	サービス活動外収益	338,846
	サービス活動外費用	338,838
	サービス活動外増減差額	8
経常増減差額		△ 69,779
特別増減	特別収益	56,847
	特別費用	57,632
	特別増減差額	△ 785
税引前当期活動増減差額		△ 70,564
法人税・住民税及び事業税		0
当期活動増減差額		△ 70,564
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額	47,190
	当期末繰越活動増減差額	△ 23,374
	基本金取崩額	0
	基金取崩額	70,000
	その他の積立金取崩額	3,439
	その他の積立金積立額	2,866
次期繰越活動増減差額		47,199

■ 貸借対照表		(単位：千円)
科 目	金 額	
<b>資産の部</b>		
流動資産	550,537	
固定資産	17,330,057	
(基本財産)	5,000	
(その他の固定資産)	17,325,057	
資産合計	17,880,594	
<b>負債の部</b>		
流動負債	116,223	
固定負債	16,294,904	
負債合計	16,411,127	
<b>純資産の部</b>		
基本金	200	
基金	112,138	
国庫補助金等特別積立金	1,143,044	
その他の積立金	166,888	
次期繰越活動増減差額	47,197	
純資産合計	1,469,467	
負債及び純資産合計	17,880,594	

※千円未満を四捨五入しているため、若干の誤差が生じています。

● **福祉サービス第三者評価事業**  
福祉サービスの質の向上を目指すことを目的に、客観的かつ専門的に第三者が福祉サービスを評価した。  
「・受審事業所……………10か所」

● **5 多様な組織等との連携協働**  
地域における福祉サービスの向上とサービス利用者の福祉増進が図られるよう、6 種別協議会の組織事務、及び10 団体の適正な運営と事業促進に努めた。

● **6 指定管理施設の管理運営**  
ふれあいランド岩手の管理運営  
効率的な運営、魅力ある事業の企画実施、サービス向上及び安全性の高い堅実な施設運営に努めることにも、3 年ぶりにふれあいランド祭を開催した。  
「・総利用者数……………170,745人」

● **7 県社協の活動基盤の強化**  
県内企業・団体に対し協賛金を呼びかけ、333の企業・団体から支援を受けるとともに、経営組織のガバナンス強化のため会計監査人による監査を受検した。

